

世界 **世界の合繊需要は 2015 年に 4,900 万ト超へ**

米国の調査会社 Global Industry Analysts がこのほど世界の合成繊維市場に関するレポートを上市した。

世界の合繊需要は 2015 年までに 4,900 万ト超の規模に拡大すると予測している。その要因として、製品および生産プロセスの技術的向上、合繊織物の生産性向上、合繊の低価格化などを挙げている。しかし、このうち低価格化による需要拡大効果は、原料、物流、エネルギーなどの諸コストの高騰により限定的となると見ている。

今後の経済見通しを総じて低成長を予想している点は低コストの合繊素材にとって好ましいものであり、需要規模はコットン素材を上回るだろうとしている。また、技術とマーケティング戦略の改善により合繊の活用は大きく促進され、加えて、汚れにくく、乾きやすいという合繊素材の特徴は洗濯回数・エネルギーの低減に繋がるもので、需要拡大の要因となるとしている。

地域別では中国が合繊の生産、消費で引き続き高い伸びを示し、世界の合繊市場を独占するだろうとしている。

一方、合繊需要のマイナス要因として、原料不足、一般消費者の環境意識の高まり、環境にやさしい製品の需要拡大などを挙げている。

スイス **Lenzing と Litrax、植物由来の新製品を発表**

オーストリアの Lenzing Group とスイス Litrax AG は、Lenzing の *Tencel* と Litrax の竹由来の繊維 *LITRAX-1* の組み合わせによる独自の糸を販売すると発表した。*Tencel* は植物由来の繊維であり、竹繊維は、成長の早い再生可能な素材とともに環境にやさしい素材である。

パートナーとなる紡績企業 4 社が、様々な梳毛糸、リング紡績糸を生産し、テキスタイル企業に販売するという。Litrax によると、この *LITRAX-1* には独自の DNA コードが付されており、これによって、ユーザーが本物を購入すること、サプライチェーンと顧客を守ることが確保できると述べている。Litrax は、既に *LITRAX-1* とナノファイバー、合繊との混紡商品を発売している。

(2010/4/10)